



高齢者・障がい者にやさしい沼辺公園へ

降旗 聡

問 高齢者・障がい者にもやさしい公園について、①車いすでも利用しやすいように、沼辺公園のトイレの改良を。②保公園の障がい者専用駐車場設置とトイレの改良について。

答 都市建設部長 ①沼辺公園については、多機能トイレの前には目隠しの壁があります。トイレの入り口と壁の間が1メートルで、車いすの回転に必要な直径1.5メートルに満たないため、ドアを開けないと回転できない状況です。このため開けやすいドアに取り替えることや目隠しの壁の改修などを検討していきます。②保公園については、都市公園は誘致距離を勘案していません。駐車場は、基本的に誘致距離の大きい近隣公園に設置しています。保公園を含め、誘致距離が小さい街区公園には、駐車場を設置していません。また、トイレを改良する時は、多機能トイレにする必要があります。



沼辺公園

保公園と同様な一般トイレは他の都市公園にも設置しているの
で、都市公園全体のなかでの今
後の検討課題とさせていただきます
たいと考えています。

公共施設等総合管理計画について

安田 真也

問 国と自治体が一丸となつて、公共施設等の戦略的な維持管理や更新等に取り組む方針が打ち出されたが、当市の取り組みは。

答 市長 公共施設トータルマネジメントの第一歩として、26年度に「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、ハコモノ施設を中心とした当市の公共施設の現況や将来の見通し、更新や長寿命化に関する基本的な考え方などを示していく予定である。また、なるべく早い時期に、全ての公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための「公共施設等総合管理計画」を策定し、当市の実情にあったマネジメントに取り組みたいと考えている。

市史を子供達にも分かりやすく伝えるべき

問 市史編さん事業も大詰めをむかえている。子供達に郷土の歴史を知ってもらうために、工夫をしてみてもいいか。

答 教育部長 市制20周年記念誌として「年表吉川のおゆみ」を編集する計画。年表中にマンガ等を入れられないか協議する。

行政計画の執行体制と個別計画について

中村 喜一

問 計画の事業目的にそつた執行体制や人材の登用システムを構築すべきではないか。

答 市長 総合振興計画を推進するため、行政ニーズに的確に対応できる組織機構を編成し取り組んで行く。また年功序列や固定観念にとらわれず、職員の資質を見極め、優秀な人材を積極的に登用していく。

問 農地集約化の計画策定は、地域関係者全ての話し合いが鍵になるのではないか。

答 市長 国が進める業務内容が解り次第、準備に取組む。農地中間管理機構に関しては、今後農協など関係機関と連携し協議を進めていく。市単独の計画策定の考えは無く、機構から委託される業務を地域の担い手農家や農地の出し手に情報提供していくことが重要と考える。

問 国が示したインフラ長寿命化行動計画の策定を急ぎ、資金ルールに乗るべきではないか。

答 政策室長 市では共保・高久雨水ポンプ場の長寿命化計画や橋梁長寿命化修繕計画を策定した。今後ポンプ場の機械・電気設備の更新工事、橋梁の修繕・道路ストックの点検などで国庫補助金を活用していく。

財政の長期展望を

山崎 勝他

問 ①庁舎建設事業費予算は。②学校給食センター整備事業費は。③吉川橋架け替え事業費は。④吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業費は。⑤将来の公債費が最大になる年度は。

答 総務部長 庁舎や倉庫棟、外構工事ほかIT関係や備品費等合わせて約55億8300万円と推計している。②平成28年度から15年間の運営維持管理で、71億3615万1千円。③吉川橋の工事と用地補償の負担金は約4億5千万円、進捗率は約63・9%。④総事業費は、約174億円。そのうち市負担は約48億円の見込み。⑤平成31年度に公債費が最大となる見込み。

農業経営安定対策は。

問 人・農地プラン2014年米政策の見直し、その仕組は。

答 市長 県に農地中間管理機構を設置し、人・農地プランにおいて地域の中心となる農業者などの担い手に、農地の集積、集約を進める。主食用米に対する交付金は平成26年度から減額し、平成29年度をもって廃止することとしている。農家自らの行政策転換である。

戦争する国づくりは許されない

佐藤 清治

問 安倍首相は衆院予算委員会で内閣が勝手に憲法解釈の変更ができるとの考えを示した。首相の発言は戦争する国づくりへ突き進むものとして多くの市民から不安と怒りの声がかきかされる。市長はこうした声を解消する為にも抗議すべきでは。

答 市長 集団的自衛権をめぐる問題については国会でも十分かつ慎重に議論していただきたいと考えている。

高齢者肺炎球菌ワクチン助成を

問 全国の自治体でも大きく広がっている。市としても助成を。

答 市長 国として定期接種とした場合、すみやかに実施する。

公契約条例制定を

問 吉川市も制定すべきでは。

答 総務部長 考えていない。

市道の震動対策は

問 駅南で水道管の布設替が行われている本復旧と震動対策について伺います。

答 水道課長 震動対策については市道365号線で実施した舗装で効果が出ており、同様の施行で対応している。

調整区域を生かした一体感のあるまちづくりを

小林 昭子

問 駅北口に近いフレッシュアップームを拠点に市民が農村部に親しめる街づくりを。

答 市民生活部長 なまずの街おこしや吉川ねぎのブランド化に着手した。今後、開催予定の観光資源検討委員会で議論される。

新さびり改修の進捗状況は

答 市民生活部長 道路横断部分の暗渠敷設替えを平成20年度から着手した。平成25年度は最優先箇所の新田用水路を横断する流末部の整備と新さびりに流入する西側水路道路横断部分の暗渠3ヶ所を整備。今後、整備内容について地域の代表者と調整を図っていく。

資材置き場設置条例を

問 資材置き場への通行道の舗装など当面の対策にも力を。

答 市民生活部長 愛知県春日井市の防止措置を義務付けるもの、神奈川県厚木市の開発行為時の近隣説明会の義務付けと、大きく2つに分かれている。一定の効果は見込まれるが完全に問題解決するのはむずかしい。今後情報収集と研究をしていく。

答えて市長！一般質問